



## 世界インターアクト週間にあたって

インターアクト委員会  
委員長

西 秀樹  
(八尾RC)



平素よりインターアクトの活動にご理解と、ご支援を賜り皆様方には心より感謝申し上げます。

さて、11月が「世界インターアクト週間」であることをご存知でしょうか？ 1962年、RI理事会により、インターアクトプログラムが宣言され、この年の11月5日アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により、メルボルン高校に世界最初のインターアクトクラブが誕生しました。その創立記念日を祝い「世界インターアクト週間」と指定されました。

この週間は、インターアクトクラブの地域社会への貢献を多くの人々に知ってもらう機会として期待されています。世界各地で、青少年が様々なインターアクト活動を通じ、社会奉仕、国際理解と親睦の輪を広げています。

日本最初のインターアクトクラブは、1963年6月27日に結成された、宮城県の仙台東RC提唱の仙台育英学園高校IACです。100人を超える人数で誕生し日本で初めて、世界で一番大きなIACが結成されました。

当地区のIACは、金光八尾(八尾RC)、大阪桐蔭(大東RC)、四天王寺(大阪天王寺RC)、清風(大阪南RC)、相愛(大阪RC)、浪速(大阪帝塚山RC)、大阪国際大和田(守口イブニングRC)の全7校があります。教育現場で、生徒たちと日々心をひとつにして彼らを守り育ててくださっている顧問の先生方にお礼申し上げます。

各校では、地域への奉仕活動として清掃活動、献血活動、募金活動等が挙げられます。活動には、提唱RCのロータリアンが参加したり、インターアクターが逆にRCの活動に参加することでIACとRCの交流と親睦を深めることで健全な青少年育成に繋がっています。

地区の活動として3つの柱があります。海外研修、今年は8月4日より3泊4日で台湾台北(第3520地区)へ訪問しました。現地インターアクター達との交流と合同での地域奉仕活動をしてまいりました。年次大会(27年11月15日・清風学園)、新入生歓迎会(来年6月予定)を柱とし、機関紙SCRUMを発行しています。

中学、高校生活をする年間は、精神的、肉体的にも人間形成にとって極めて重要な時期であります。このような時期に地域社会に向け奉仕活動を実践し、そして国際理解を推進するプロジェクトに参加することは、素晴らしい経験であると思います。他の人の役に立つことをすることは、他人への思いやりの心の形成であり、人の心を豊かにしてくれます。未来のリーダーを育むインターアクトクラブの活躍が一層飛躍発展し、若きリーダーが世界へとはばたく大きな一歩になると確信しています。

今後もIACを提唱されるRCが増えていくことを願います。インターアクトがさらに発展するようご尽力賜りますようお願い申し上げます。